

北陸新幹線の京都延伸にかかる要望書

北陸新幹線の小浜以西の延伸が、京都丹波高原国定公園を縦断し京都市内から松井山手を経て大阪へ伸びるルートで計画され、その環境影響評価の手続きがすすめられています。

それによると国定公園内は長大なトンネルで通過し、第一種特別地域の芦生の森はルートから外すとされています。しかし、事業実施想定区域及びその周辺には希少な動物・植物の生息・生育地や、京都丹波高原国定公園、京都府歴史的な自然環境保全地域（片波川流域）等が存在する地域です。気候変動による影響も加わりこの地域に生息・生育する動植物・生態系は、絶滅の危機に瀕し生物多様性の喪失が懸念されています。ルート帯には由良川・桂川・鴨川の水源があり「希少植物生育保全地区、管理地区」の雲ヶ畑地域や国の天然記念物深泥池があり、それらの地下水脈への影響が懸念されます。また、レッドデータブック記載のイヌワシやクマタカの生息域でもあり、トンネル工事や工事車両通過に伴う騒音・振動・排気による周辺に生息する動植物や生態系への影響も懸念されます。トンネル工事で出る大量の土砂の搬出先はどうなるのかも問題であり、そもそも自然環境への影響が一番大きなこのルートが費用対効果を見捨ててなぜ選定されたのかも不明です。山をフィールドとして活動する登山者として、京都の山の豊かな自然を守り次世代に引き継ぐために、北陸新幹線の延伸に関し下記のことを要望します。

記

- 1 京都丹波高原国定公園を縦断する現行計画案は、山岳・自然など環境への影響が大きく環境破壊の懸念が生じます。現行ルートによる計画の見直し・再検討を求めます。
- 2 現在すすめられている環境影響評価の手続きにおいては、貴重な自然への影響を専門家はもちろん地域で活動する自然保全団体等の意見を積極的に聞き、その意見をふまえた厳密で十分な調査を行い、結果をすべて公表することを求めます。そして自然環境への影響が明らかになった場合は、計画の凍結・見直しを検討されたい。

	氏 名	住 所
1		
2		
3		
4		
5		

注：この署名で頂いた個人情報は、個人情報保護法に則り適切に保管し利用目的以外に使用しません。

<取扱い団体> 京都府勤労者山岳連盟

〒615-0013 京都市右京区西院松井町 7-1

FAX 075-315-7039

E-mail Kyoto_waf260@dab.hi-ho.ne.jp